

東海鉄道OB会報

第5号

平成18年4月



御殿場線 山北駅付近 名古屋機関区支部 加藤銅一

平成十八年度
東海鉄道OB会基本方針(案) …… 2

会員減少を食止めて

―仲間と旧交を暖める場を確保―

静岡支部長 神谷光男 …… 2

第一回東海大阪地方本部ゴルフ大会の開催

東海大阪地方本部事務局 高森仁司 …… 3

支部主催「秋の旅あれこれ」

磐田支部 鈴木正雄 …… 3

「開基研究会」と「歩こう会」の開催

千種名東支部長 安田和好 …… 4

レクリエーション活動のスタート

笠寺支部長 二村昌士 …… 4

越前カニグルメの旅

垂井支部長 北村忠行 …… 5

しめやかに物故者追悼慰霊祭

美濃太田支部長 星谷成美 …… 5

JR東海トップピクス …… 6

グループインフォメーション …… 9

読者のひろば …… 11

「会報への寄稿、文芸欄への投稿」要領
編集後記 …… 16

平成十八年度 東海鉄道OB会基本方針（案）

平成十七年四月一日に東海鉄道OB会が発足して満一年を経過し、会員一同の理解と協力を得ながら、またJR東海をはじめグループ各社の物心両面に亘る協力を頂いて平成十八年度を迎えることができました。

本年度は、組織の充実を図り新しいJR退職者が入会し易い組織を築き上げ、自主自立をした新しい組織を早く発展させ、安定化を図り行動のできるよう進めなければなりませんので、この基本方針（案）を本年度開催の本部総会に付議し、審議していただく予定にしています。

基本方針（案）

- 東海鉄道OB会の基礎確立と組織の充実
- 会員相互の親睦、特に支部活動の活性化
- 会員増強運動の積極推進、特にJR退職者の入会促進
- 東海旅客鉄道株式会社及び関連グループの事業への協力、特に増収協力活動の推進
- 東海鉄道OB会報の充実

会員減少を食止めて

仲間と旧交を暖める場を確保

静岡支部長 神谷光男

平成十七年四月一日『日本鉄道OB会』が改

編され、「地域の実情に応じて自主運営し、活性化を図る」目的で『東海鉄道OB会』が誕生し、私達は新体制の下でOB会活動をする事となった。

特に新体制移行の事由で謳われているように、会員の高齢化や新規退職者の入会率の低下等により、会員の相互親睦や健康管理等を行う諸施策の活動が十分果たし得なくなっているのが実情である。

この様な情況に対処するため、毎年の事業計画の中で会員増強に取組んできたが、その成果は不十分である。

一 会員の現状

会員数が最も多い時は七百有余名いたと聞いているが、下表に示す通り平成十七年十二月末の会員数は四〇一名となり各会員の入会勧誘の努力にもかかわらず、この四年間で約六十名の会員が減少している。

また年齢構成から見てもいわゆる高齢者と云われる七十五才以上が七割強を占め、平均年齢八十歳と大変厳しい状況となっている。

このような状態を放置しておくことは、組織を消滅させ、同じ職場で寝食を共にし、助け合ってきた先輩や同僚は勿論のこと、これ

会員数の推移

年 度	年 度 末 会 員 数				年 度 中 の 増 減			
	普通	遺族	長寿	計	入会	退会	死亡	増減
H13年3月末	385	50	24	459	—	—	—	—
H14年3月末	357	52	17	426	5	-30	-8	-33
H15年3月末	341	48	13	402	6	-20	-10	-24
H16年3月末	343	44	13	400	14	-8	-8	-2
H17年3月末	349	41	11	401	18	-7	-10	1
H17年12月末	354	38	9	401	14	-3	-11	0

会員の年齢構成

年 齢 別	男 性	女 性	計
55～59	6	—	6
60～64	44	—	44
65～69	24	—	24
70～74	34	6	40
75～79	107	13	120
80～84	105	12	117
85～89	29	4	33
90～94	9	1	10
95以上	5	2	7

(H17・12末)

から退職してくる後輩との「旧交を暖める」機会を私達が失わせることに大きな責任を感じ、会員獲得に努力してきたがその責任を果していない現状である。

二 会員の増強施策

以上の状況に鑑み、現状の会員獲得の取り組み方を見直し、新体制移行を契機に改めて支部役員と地区幹事が一体となり、会員増強活動を次の通り実施していく。

(一) 会員相互の連携と意思統一のための取組み

ア・未加入者（特にJR東海退職者）の実態把握

・昨年施行された個人情報保護法の法的主旨を踏まえ、毎月の退職者を関係箇所と連携し、把握に努め関係者に連絡して取組み方を打合せする。

・該当者に対し、支部から入会手紙の送付と支部役員及び該当者の先輩と関係会社の担当者で連携を密にして勧誘に努める。

イ

地区幹事会を四半期に一回開催し、新会員獲得状況を説明して、未加入者の関係者に応援を依頼する。

ウ

入会し易くするため系統別部会を設け、それぞれに責任者を置き、会員獲得に努める。

エ

以上の会員獲得状況を四半期に一回発行する「静岡支部だより」に掲載して、全会員に周知して協力を得ていく。

(二) 新会員獲得のための取組み

新会員を獲得するためには、現在の鉄道OB会そのものが理解されていない。

そこで新年度は、鉄道OB会の組織形態、会員の状況及び活動状況等を網羅した「鉄道OB会静岡支部案内」を作成し、前号の補助資料として会員の勧誘に努めることとする。

「鉄道OB会静岡支部案内」の内容

ア 組織形態（内容省略）

イ 会員の状況（内容省略）

ウ 活動状況（定例）

●会報「静岡支部だより」の発行

支部総会・地区幹事会の開催経過及び会員の地域における活動並びにJR静岡支社や関連企業のトピックス等を掲載して会員全員に周知する。

●グラウンドゴルフ

日時 毎月第三水曜日 九時から午前中
場所 東静岡駅北側（市営広場） 徒歩三分
会員数 三十五名

●ウォーキング

日時 毎月第三土曜日 出発時刻はその都度
行き先 静岡県名所旧跡
行程等 徒歩距離七～十二km所要時間約五時間
会員数 約五〇名

●囲碁クラブ

日時 毎月第三水曜日十時～十六時頃
場所 静岡市内
会員数 二十名

●パソコンクラブ

日時 毎月第二・四水曜日
十三時～十六時
場所 支部事務所内
会員数 十五名

●工 活動状況（随時）

四季折々に開催
春／初詣、花見
夏／安倍川花火
秋／紅葉見物
冬／忘年会

●オ その他の活動

・JR東海会社関連旅客収入、
傷害保険、機関車清掃
・JR東海関連会社の利用促進



昨年寒風の中参加したグラウンドゴルフ会員

・鉄道少年団活動へ奉仕
・地域の通学指導や環境整備等の奉仕
力 今後の活動範囲の拡大
会員の相互親睦と生活の楽しみを豊かにするために会員の趣味等の意向を聞き、役員及び地区幹事会で検討して、できるものから立上げ新会員の活動する場を広げていく。

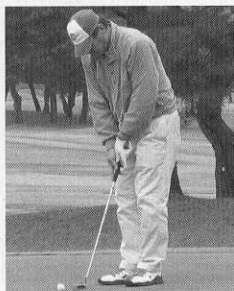
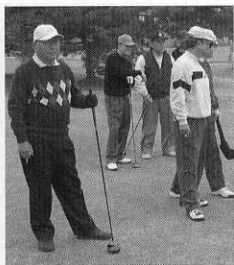
第一回東海大阪地方本部
ゴルフ大会の開催

東海大阪地方本部事務局 高森仁司

平成十七年十二月二日

（金曜日）に第一回東海大阪地方本部主催のゴルフ大会に四支部から総勢四十名の参加を得、滋賀県「瀬田ゴルフコース西コース」で盛大に開催しました。

当日は穏やかな天候に恵まれ、アウト・イン九時〇三分同時スタートで、OB会員の方が日ごろ鍛えた我慢の腕を振りました。コースは曲げると松林の中、距離も長く、またグリーン



付近はバンカーもあり、かなり手ごわいコースで皆さん悪戦苦闘されていた様子でした。表彰式は同ゴルフ場のコンペルームで開催し、片山地方本部長の挨拶の後、賞品授与が行われ、栄えある第一回目の優勝者は運輸営業支部の上田國男氏が受賞されました。最後に塩尻施設支部長の閉会の挨拶で、楽しいゴルフコンペを無事終了しました。

支部主催「秋の旅あれこれ」

磐田支部 鈴木正雄

行き先は川越・越後湯沢・奥只見湖、私には初めてのところばかり。

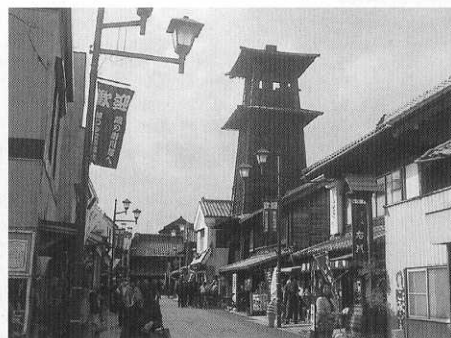
支部作成の行程案内を頼りにバスに乗り、一行は昔なじみの気の合う方々四十名。

バスの走る東の空に鯨雲、その中から朝日が輝いている。やがて左窓に富士山、右に由比・蒲原の家並み、駿河湾の向こうに霞む伊豆の山々、いつ見ても美しい景色だ。

御殿場線・酒匂川に沿って走る東名高速、四十年前の建設当時を偲び、独り懐かしむ。

東名高速を出て約五十分、都内の渋滞道路を走り抜け、関越道に入り、予定時刻びたり、目ざす小江戸「川越」に着く。名物「芋ごのみ御膳」で腹ふくらめて、江戸情緒漂う時の鐘、駄菓子屋横丁、蔵作りの町並みを赤い服着たシルバードさんの案内で暫し古きよき風景に浸る。

川越をあとにバスは再び関越道を走る。上里SAを過ぎて、目に見えるもの山また山の重なりばかり。私を知る山の名は榛名赤城・谷川岳ぐらい



なもの。やがて、太陽が赤く山並みに沈むころ、国境の長いトンネル、それを抜けると湯沢の町。

周りの連山、雪はまだないが、みなスキー場、山裾にはコンクリートの建物が多い。十分

分ほどで湯沢グランドホテルに着いた。

風情ある露天風呂に疲れを癒し、夕食は舞台のある部屋、和気藹々の一時は楽しい。

翌朝は元氣早起、風呂、食事、土産を買い込み、奥只見湖に向かう。道中、シルバークラインなるトンネルをジグザク二十分、ダム下に着き、モノレールカーにて堰堤上の人造湖の乗船場に着く。

遊覧船ファンタジア号（鋼造三階・定員三百名）に乗り、銀山平まで四十分の船遊び。岸辺の山の紅葉は黄、茶、緑、赤と地味ながら湖面を彩り、とりまく山並みは幾重にも重なり空の青とともに美しい。船の中では、一階・二階・甲板へといったりきたり子供のごとく愉しむ。

湖を降りて、昼食は魚野川の堀之内やな場で、鮎の塩焼き、甘露煮、フライを食べた。

その味を胸に、美しい山並みをあとに、来た道を一路帰途につく。

行つてよかった。楽しく見聞をひろめた旅でした。バスの方々、旅の幹事さん、同行の皆さん、有難うございました。

ジェイアール東海ツアーズ増収協力額百二十万円

「囲碁研究会」と「歩こう会」の開催

千種名東支部長 安田和好

一 囲碁研究会

千種名東支部主催恒例の第八回『囲碁研究会』を、十一月八日に市内東山コミセン囲碁室において高段者の当支部、渡邊 禎副支部長指導により、午前十時から午後五時まで十六名が参加し、研究会を有意義に行いまして研鑽いたしました。

なお、当支部には囲碁クラブが結成されていて、毎月囲碁愛好者が自主的に集まり対局を楽しんでいます。〈支部主催は研究会を年二回〉

二 歩こう会

千種名東支部主催恒例の第二十六回『歩こう会』を、十一月十五日に、昔懐かしさを感じる風景の場所「市内川名山界隈」を選び開催しました。参加者は十一名。地下鉄鶴舞線いりなか駅より禅宗の古刹、香積院へ。境内の市指定の保存樹木、ヤマモモの立派な大木に見とれ、南山大学の人類学博物館（無料）に立ち寄り、伊勝八幡宮を参拝、県指定文化財の狛犬（陶製）、市指定保存樹木ア



ベマキを観る。宝珠院に寄り、前山緑地で昼食休憩して、おにぎりをほお張りながら情報交換懇親会。あと地下鉄川名駅で解散しました。

コースは、坂道が多く軽い疲れを感じましたが、市内の騒音もなく懐かしさを感じる風景で心穏む一日でありました。なお、当支部主催の歩こう会は、以前JR東海の「さわやかウォーキング」に参加していましたが、最近高齢者が多くなり半日程度の軽いハイキングコースを選定して年二回実施しています。

レクリエーション活動のスタート

笠寺支部長 二村昌士

東海鉄道OB会が発足して一年になります。笠寺支部では、この一年を通じて新しく七名の新入会員を迎え、会員数は約八十名となります。笠寺支部は名古屋市東南部に位置する南区・緑区、それに隣接の豊明市を加えた広範な地域にわたっており、この地域は名所・旧跡も多く、古い歴史のある町でもあります。

このような恵まれた地域に在住する当支部会員は地元におけるボランティア活動の外に、会員の健康な生活の維持及び会員相互の親睦を深めることを目標に、以下のようなレクリエーション活動を始めました。

☆レクリエーション活動の実績と具体的内容☆

一 カラオケ（大きな声を出し歌手気分を返る）

昨年八月から、毎月一回大府市横根山「モン吉」店まで出かけて新曲の勉強とナツメロの披露です。十二月には、役員会を兼ねてカラオケの練習

を行いました。

いずれは他の支部との交流を図りたいと頑張っています。

二 ゴルフ&グラウンド
ゴルフ(太陽の下で、ホールインに胸躍らす)

ゴルフは第一回目を昨年十一月に鳴海カントリークラブで開催しました。グラウンドゴルフは第一回目の練習を三月に緑区で開催しました。いずれは他支部と交流会を図りたいと思っています。

三 花見の会(自然の四季の美しさを味わう)

四月のサクラの咲く頃に、大高緑地公園で花見一杯、弁当を食べながら自然の美しさを楽しみます。(お酒は大高の地酒です)

四 ミステリーツアー(温泉で身体と心を癒す)

日帰り温泉の旅を計画しております。六月の総会が終了した頃に計画します。行き先は?です。

以上のように身近に出来ることから活動を進めています。レクリエーション活動推進の原点は楽しさに加えてお値打ち感があり、それに経験のあるリーダーの発掘と会員各自が積極的に参加することだと実感しました。

今年も地方本部と連携を密にしながら、会員の幸せを求めて、名所・旧跡を巡りながら笠寺支部の存在価値を高めて行きたいと思っています。



越前カニグルメの旅

垂井支部長 北村忠行

垂井支部では「越前カニグルメの旅」を計画し、四十一名の参加を得て盛会の内に終わりました。

この旅行は垂井支部がOB会員相互の親睦と増収協力を目的とし、毎年十二月に行っているもので、今年は十二月二日、天気は曇りで午後は雨の降る天気でしたが、バスの中は話しに花が咲き、明るい雰囲気でした。また会員相互もより親しみが深まりました。

コースは垂井駅を出発し、府中地区、岩手地区を経由して関ヶ原へ入りました。ここは今から四百年程前に石田三成と徳川家康が戦った古戦場です。今年のNHKの大河ドラマに山内一豊の物語が放送されますが、その中にも描かれると思われる歴史の宝庫で、今でも多くの人を引きつけています。そこから一路北国街道を西へ進みました。

この道は、明治の初期に最初の鉄道が敷設された道です。その後現在の東海道本線になりました。今でも当時の駅名だった春照があり、現在地名となつています。そこから姉川沿いに長浜へ入りました。姉川は織田信長と浅井長政が戦った所、長浜は後に天下人になった豊臣秀吉が最初の城主となつたところです。このように歴史を辿りながら敦賀へ向かいました。

敦賀では、昆布館、小牧かまぼこ等へ寄りショッピング、これらの原料は江戸時代には「北前舟」により北海道から運ばれ、全国へ輸送された聞いております。食事場所は「やべ清」で新鮮なカニの料理を満喫しました。二時間の食事は、お

互い交流を深めました。帰りも同じ道を通り、なごやかな中にまた来年も再会を約して終わりました。

ジェイアール東海ツアーズ増収協力額三十二万八千円

しめやかに物故者追悼慰霊祭

美濃太田支部長 星谷成美

当支部恒例の行事となっています平成十六年度物故者の追悼慰霊祭を日本ライン河畔の由緒ある「祐泉寺」で九月十日に執り行いました。

長寿国世界一となり寿命が八十年に延びたというのに、当年度は七十代が八名、八十代が六名、九十代が三名と近年にない多数の方々とお別れするという事態になり、誠に残念でたまりませんでした。

法要には、ご遺族の奥様及びご子息様のお参り及びOB会員も多数参加して読経のあと、ご住職から「諸行無常」「是生滅法」「生滅滅已」「寂滅為楽」という四句の解説に引き続いて、これいろは四十八文字に写し代えられた弘法大師の説法を聞かせて戴いて、全員深い感銘を受けました。故人の冥福を祈りご遺族を交えて昼食をとり、戦中戦後各人が家庭を顧みず鉄道業務を守つてきた思い出話に花を咲かせて有意義な慰霊祭でした。



JR東海ト

ピックス

総合企画本部
建設工事部

東海道新幹線

米原～京都間新駅工事協定締結

かねてより滋賀県や栗東市等の地元から設置の要望が強かった東海道新幹線米原～京都間新駅の建設にいよいよ着手します。この区間は東海道新幹線で最も駅間が長く約68.1kmあり、新駅は米原駅から約43.8km、京都駅から約24.3kmの位置に設置されます。

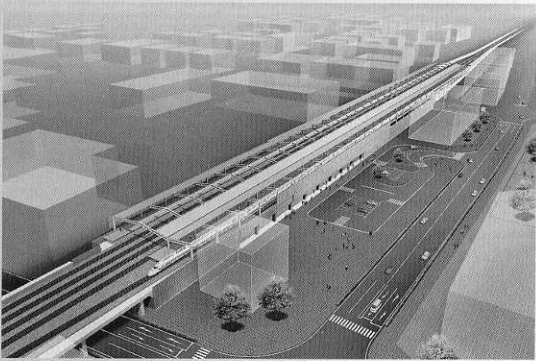
昨年12月25日には、滋賀県と、駅が設置される栗東市、及び新駅の建設費を負担していただく関係市から構成される協議会の

3者と当社との間で、具体的な工事の推進に向けた工事協定を締結し、同日、滋賀県の大津プリンスホテルにおいて、国松滋賀県知事、松本社長ら関係者が一堂に会して、協定書の交換式を執り行いました。

新駅の開業は平成24年度を予定しています。観光資源も豊富な琵琶湖南地域の新たな玄関口にふさわしい駅を目指して、無事故で工事を進めていきます。



▲工事協定書の交換後、握手する松本社長と国松滋賀県知事



▲東海道新幹線米原～京都間新駅のイメージ図

総合技術本部

山梨リニア実験線 超電導リニア

高温超電導磁石を搭載した
走行試験

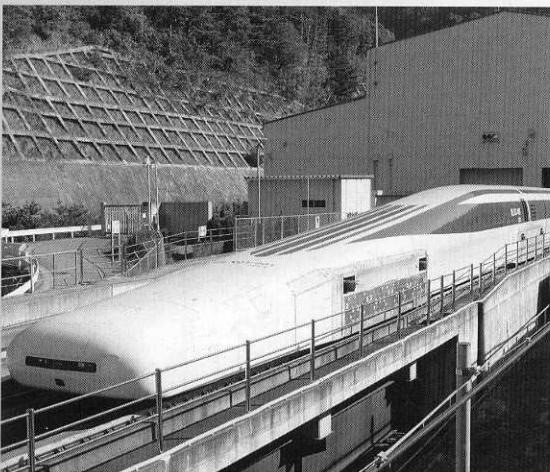
山梨リニア実験線では、11月22日～12月9日の期間に、高温超電導磁石を搭載した走行試験を実施しました。

走行試験は、初日より時速501km/hを記録。8日目には最高速度553km/hを達成するなど、本走行試験は極めて順調に推移しました。

高温超電導磁石は、ビスマス系高温超電導線材を使用し、現在、山梨リニア実験

線車両に搭載されている低温超電導磁石に比べ、16℃高いマイナス253℃で安定的に超電導状態を維持できることが特徴です。このことから、液体ヘリウムや液体窒素を使用せず、冷凍機でコイルを直接冷却することが可能となります。その結果、低温超電導磁石に比べ、構造が簡素化され、信頼性の向上とコスト低減が期待できます。

今後、本走行試験で得られた基本特性データを踏まえ、高温超電導磁石の実用化に向けた技術開発を行うなど、コア技術の一層のレベルアップに取り組み、超電導リニアの完成度をさらに高めていきます。



◆ JR東海トピックス ◆

広報部

JR東海「うましうるわし奈良」キャンペーン

「お水取り」篇」を展開

千数百年の時の流れが育んだ豊かな歴史と自然が残る悠久の都、奈良。昨年秋季より、奈良ならではの魅力をあらためて掘り起こし、日本人の原点を発見する旅に誘うキャンペーン「うましうるわし 奈良」を展開しています。

この1月から、春を呼び込む行事として有名な東大寺二月堂の「お水取り(修二会)」をモチーフに、1300年近く一度も途絶えることなく続けられている、奈良の変わらぬ「お水取り」を火が織りなす、荘厳な美とともに紹介する「お水取り篇」を展開しました。首都圏・静岡地区を中心に、TVCMをはじめJR山手線1編成まるごと借りきつての車内広告や主要駅への大型パネルの掲出など大々的に展開したところ、「奈良に行きたくなった」「CMの映像が素敵、音楽もいい」など多数の反響が寄せられました。

1月26～28日に東京駅八重洲中央口イベ



▲JR山手線車内広告



▲「奈良大和路観光展」の様子



▲首都圏JR主要駅掲出の大型パネル

ントスペースにて開催された「奈良大和路観光展(奈良市・(社)奈良市観光協会主催)」でもポスター・TVCMを紹介し、ご来場いただいた方にご好評をいただきました。また、キャンペーン展開にあわせ、「50」などで設定した「お水取り」の見学を組み込んだツアー商品も、告知早々に多くのお客さまにご予約いただくなど盛況でした。

「うましうるわし 奈良」キャンペーンは、平成京遷都1300年を迎える2010年に向け継続的に展開していきます。これからの展開にもどうぞご期待ください。

東海鉄道事業本部

伊勢・鳥羽が満喫できる

「伊勢路フリーきっぷ」新発売

東海鉄道事業本部では、伊勢・鳥羽地区への旅行に便利でお得な「伊勢路フリーきっぷ」を設定し、名古屋地区を中心とした当社駅窓口や主な旅行会社で発売しています。

このきっぷは、出発地からの往復乗車券に加え、6000円分のタクシー乗車券(うち2000円分は「おかげ横丁」でもご利用できる共通券)が付いて、お一人様なんと7500円(名古屋市内発設定)！2人目から4人目までは1人あたりプラス2000円と、グループでの旅行にとってもお得です。

また、松阪～鳥羽間をフリー区間としている他、かえりのきっぷを提示すると、鳥羽水族館等13の協賛施設で入場料割引等の特典が受けられますので、観光やお買い物にも大活躍のきっぷです。

快速「みえ」号に乗車して、伊勢・鳥羽が満喫できる「伊勢路フリーきっぷ」。社員の皆さまも、ご家族やご友人を誘ってぜひ伊勢路の旅へ足を運んでみてください。※別途、座席指定券や特急券をお買い求めになれば、指定席や特急列車も利用できます。

福旅をしよう。

伊勢路フリーきっぷ

【有効期間】3日間 【発売期間】出発地周辺のJR東海の主な駅及び主な旅行会社の窓口・営業所

きっぷの料金

1人用	7,500円
2人目から	2,000円

※別途、座席指定券や特急券をお買い求めください。

ご利用は、マークのJRグループ協定旅館・ホテルで。

安全な旅行のために、ご協力を
駅及び車内に危険物は持ち込まず。不審物は係員までお知らせ下さい。
Attention Hazardous items are prohibited on station premises and on board trains.

▲「伊勢路フリーきっぷ」ポスター

◆ JR東海トピックス ◆

浜松駅ビル「メイワン」

事業推進本部

地下1階食品売場
リニューアル

「お洒落で買いやすい、毎日寄れる食品街」をテーマにメイワン地下1階（食品市場）を全面的に改装し、3月10日に開業します。

内装は統一感のある照明や店舗サインを使用し、直線化した店内通路に沿って分かりやすく店舗を配置します。また、グロッサリー及び生鮮三品売場レジを集中させ、ご利用いただきやすい売場といたします。

静岡県初となる高品質スーパー「成城石井」やチーズスフレの専門店「89（エイティナイン）」など話題性のある新規7店舗を含む17店舗が出店し、「できたて」作りたての惣菜・スイーツをその場で提供します。

改装に合わせ食品街の名称を「フーズギャラリー MAX BONE（メイ・ビー・ワン）」とします。

さらに、浜松駅の高架柱耐震補強工事及び駅設備改良工事に合わせて、コンコース商業施設「コスタ東館」の一部もリニューアルオープンします。

お近くへお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。



▲「成城石井」及び生鮮三品ゾーン



▲専門店ゾーン

情報発信のさらなる強化を図る

事業推進本部

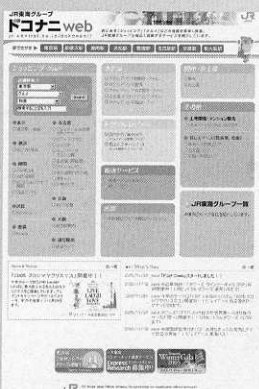
関連事業総合サイト
「ドコナニweb」を開設

11月30日、当社ホームページ内に関連事業の総合サイト「ドコナニweb」を開設しました。これはインターネット時代において当社関連事業の一層の販売促進を図るため、当社をご利用されるお客さまに対し、グループ各社が展開する事業、提供するサービスについてより具体的に分かりやすく情報発信を行うものです。

サイト名称は、現在名古屋駅で配布している商業施設案内マップと同様、「ドコに?」「ナニが?」といったお客さまの知りたい情報にお応えするサイトとして相應しいネーミングとしました。

当サイトは、新幹線主要駅の施設やサービスの紹介、エリア内の店舗等の検索、新着トピックス紹介の3つで構成されています。「駅」や「サービス」など様々なキーワードで情報を検索していただくと、簡単な操作で結果を表示するとともに、最終的にはグループ各社のホームページ内に用意されている詳しい情報にアクセスできるようにしています。ぜひ一度ご利用ください。

今後もホームページの魅力向上に取り組むとともに、情報発信のさらなる強化を図っていきます。



▲「ドコナニweb」トップ画面

<http://www.jr-central.co.jp/dokonani/>
(JR東海ホームページからもアクセスできます)

硬式野球クラブ事務局

目指せ「代表権奪回・日本一」

硬式野球クラブ

平成18年試合日程

平成18年の硬式野球クラブの試合日程が決まりましたのでお知らせいたします。

昨年は、あと一歩のところまで目標としておりました都市対抗野球大会（東京ドーム）2年連続出場を逃してしまいました。今年はその悔しさを忘れることなく、全員野球で一丸となり戦ってまいります。

社員ご家族の皆さまには、ぜひとも各大会が開催される球場に足を運んでいただき多くのご声援で選手をバックアップしていただけますようお願いいたします。

■平成18年参加大会予定表

大会名	期 日	場 所
静岡大会	4月 7日～11日	県営草薙球場他
京都大会	4月29日～5月5日	西京極野球場
富山大会	5月12日～14日	富山市民球場
都市対抗野球大会	予選リーグ戦 6月10日～18日	岡崎市民球場
東海地区予選	予選トーナメント戦 6月24日～7月5日	岡崎市民球場
JR大会	7月12日、13日	福岡ドーム
都市対抗野球大会	8月25日～9月5日	東京ドーム
日本選手権大会東海地区予選	9月30日～10月9日	岡崎市民球場
伊勢大会	10月21日～25日	伊勢倉田山球場
愛知県野球連盟会長杯大会	11月 2日～5日	トヨタグラウンド他
日本選手権大会	11月21日～28日	大阪ドーム

■家接監督のコメント

日頃より野球クラブに対し温かいご支援・ご声援を賜りまして心より感謝申し上げます。昨年は東京・大阪両ドームの出場を逃し皆さまの期待に応えることができなかったと共にお大変悔しいシーズンでありました。

今シーズンのチーム目標を「代表権奪回・日本一」とし、日々の練習の中でレベルアップに努めていきたいと思います。最低でも代表権獲得、そして最高の日本一を目指していきますので皆さま方のご支援・ご声援の程よろしくお願い申し上げます。



///グループインフォメーション

まもなく開業1周年

東京ステーション開発(株)

当社は、東京駅における駅ビル管理会社として平成17年1月に設立、同年4月1日より東京駅八重洲口地下のショッピングセンター「東京駅一番街」の営業を開始した、JR東海グループで一番新しい会社です。

東京駅一番街は、飲食店やファッション店の他、お土産品やお手軽なお菓子を取り揃えた和・洋の「おやつの時間」、TV局のショップやキャラクターショップを一同に集めた、全国でも有数のキャラクターコーナーなど、多種多様なニーズにお応えできる約100店舗からなる商店街で、近隣オフィス勤務者の他、東京駅をご利用になる多くのお客さまにご愛顧いただいて、この4月に1周年を迎えることとなりました。

社員のほとんどがJR東海とグループ会社の出向者からなる総勢30名の小さな会社ではありますが、ピリリと辛い山椒の如く少数精鋭で頑張っております。



▲お菓子店と合同で開催した「秋のおかし市」



▲人気店「トミカショップ」の開業イベント風景



▲有名なお菓子店が集う「おやつの時間」コーナー



▲イベントでいろんなキャラクターも訪れます

4月には1周年記念キャンペーンの開催も予定しておりますので、東京駅へお越しの際にはぜひとも東京駅一番街へお立ち寄りください。

ホームページ <http://www.tokyoeeki-1bangai.co.jp>

「今よりも」「どこよりも」が合言葉

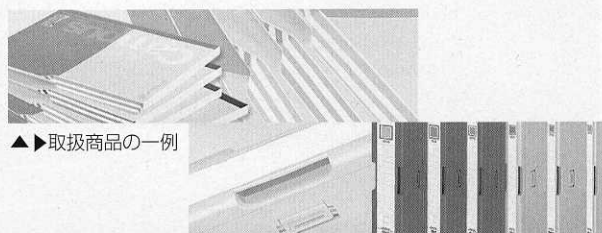
ジェイアール東海商事(株)

当社は昭和63年の設立から、グループ会社への良質かつ安価な資機材の提供に取り組んでまいりました。IT化や商流の変革など経営環境の大きな変化に対応すべく、「今よりも」「どこよりも」を合言葉に、事務機器、土木建築資材から食品まで取扱商品の幅を広げ、より便利なサービスを提供できるよう社員一丸となって努力しているところです。

お弁当用食材や外食用食材の販売では、米、生鮮食品、冷凍食品、調味料に至るまで、あらゆる食材を提供しています。また、非常時の備えとして、非常食料品も取り扱っております。

土木建築資材の販売では、基幹工事材料から建築材料まで何でも対応します。

“ミノアール”（美濃焼CTタイル）と“J-フロア”（オフィス用タイルカーペット）は、機能性に優れた当社オリジナル商品です。ぜひご注目く



▲▶取扱商品の一例

ださい。

FAX発注は、JR東海、グループ各社の事務用品について、安くて迅速にお届けできるよう頑張っています。JR東海及びグループ工事会社にご利用される資材電子調達システムの運営も行っております。

またJRTCカードをお持ちの方には、ENEOSの各スタンドにおいて会員価格でご利用できる「ENEOS-ASSCガソリンカード」（別途申込みが必要です）を取り扱っています。ぜひご利用ください。

（お問合せ先 NTT1052-388-2132 JR1061-3584）

総勢55名(男性38名、女性17名)の総合力で、お客さまのニーズにお応えできるよう、新しい事業への挑戦と商社機能の発揮により力強く取り組んでまいります。

ホームページ <http://www.jrtc.co.jp>

JRセントラルタワーズ51階 パノラマハウスリニューアル

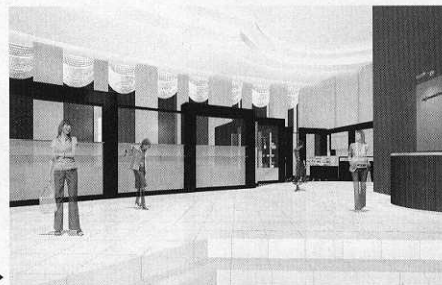
(株)ジェイアール東海高島屋

ジェイアールセントラルビル(株)

昨年10月2日に営業終了したJRセントラルタワーズ51階のパノラマハウスのリニューアル計画の概要が決まりました。

タワーズ51階をジェイアール名古屋タカシマヤのスペシャルフロアとして位置付け、(株)ジェイアール東海高島屋がフロア全体を開発・運営します。最上階ならではの眺望や天井の高さを活かした開放的な空間の中で、ゆったりとした時間をお過ごしいただけるよう上質で洗練されたサービスを提供します。

具体的には、「ビューティ&リラクゼーション」をコンセプトとして、エス



51階フロアイメージ▶

デティックサロン、美容室、ジェイアール名古屋タカシマヤお得意様サロンの各施設を配置、また、明るい店内、名古屋一のトップビューで人気の高いブランドのケーキの他、スイーツや軽食が楽しめるカフェ、夜景を見ながらワインと食事が楽しめるワインラウンジ&レストランも設けます。

（3月9日オープンしました。）

いつでも誰でも気軽に参加できる

さわやかウォーキング

2006
春

参加費無料

一部のコースを除く

予約不要

一部のコースを除く

駅がスタート!

一部のコースを除く

6/25日までの土・日・祝開催 大好評開催中



名古屋・飯田地区

静岡地区

32コース

23コース

さわやかウォーキングに、
便利でお得なきっぷ。名古屋
地区

「青空フリーパス」

静岡
地区

「休日乗り放題きっぷ」



写真はイメージです。

詳しくは、JR東海の駅にある専用パンフレットをご覧ください。 JR東海ホームページ <http://jr-central.co.jp>

読者のひろば

アラブ語で「マグレブ」陽の

沈む国に旅して

身延支部 深沢 満

映画「カサブランカ」で有名なピアノバー、カサブランカはハイアット・リージェンシーホテルの一階にあった。

成田を出発してアムステルダム経由で十八時間、スペイン旅行仲間の四人組はモロッコのバ、カサブランカで生演奏を聴きヨーロッパ各国から来た観光客と身振り手振りの交流を楽しみすっかりボギーとバークマン気分！

蟹気楼のような国モロッコの夜を楽しんだ。

ギター弾く男がひとり歌う街

旅愁ただようモロッコの夜

モロッコの楽園オアシスの街マラケシ、世界のパフォーマンスプラザ大道芸人の集まるジャマ・エル・フナ広場を訪れたのは、ホテルの夕食が終わった八時すぎだった。

真っ赤な衣装に大きな帽子、革製の水袋をさげた水売りの男、火吹き男に蛇使い、アクロバットの若い男、民族舞踊のベルベル人、黒山の人だかりの中に割って入るのは好奇心旺盛な四人組の彼女Oさんも、さすがに怖くなったのか私の手を握って放さない。

夜がしだいに深くなり、広場の照明は地べた

におかれたアセチレンのランプばかり顔を隠した古い師や踊りに熱中する黒人達に不思議な雰囲気、溢れんばかりに広場を埋めた群衆の中に溶けこんでモロッコの夜は異次元の世界に更けて行く。

マラケシからアトラス山脈のテイシカ峠を越える途中に世界遺産アイツトベンハドウがありアラビアのローレンスのロケ地で有名だ。カスバは要塞を意味し、日干しレンガで造られた家が世界遺産の中にあり、グリーンやブルーの上着にオレンジのスカーフをつけたベルベル人の少女がロバと一諸に住んでいた。

私達のバスが走り抜けるカスバ街道は、真青な空と緑のオアシスそのコントラストが美しく、赤褐色の世界をあざやかに色どっていった。

そしてサハラ砂漠へ!!

四輪駆動車で月と星、車列のライトだけが明るい夜の砂漠のものすごい凸凹の道をぐんぐん走り抜け、四WDの車列が崩れ、真暗な砂漠を一台だけとなり夜の冷気と月明かりの岩漠に、タイヤがウルウルと空回り満天の星がくるくると回りだすその果てにラクダの集団がいた。

サハラのラクダはひとこぶラクダ、座っているラクダのこぶの後に彼女が座り、その後ろに私が座る。斜めにラクダが立ち上がると鞍につかまった彼女が落ちそうになる。満天の星を仰

いでオレンジの砂漠を悠然と地の果てを行く気分は最高!

最後はラクダを降り、急斜面の砂丘をズボツズボツと白いターバンの駆者と彼女と三人で登りつめる。そして、砂漠の日の出の瞬間を待つ空が七色に変って砂丘の色のあざやかな変化は、その壮大さに言葉では表現ができない。

生涯忘れられない光景であった!

稲沢まつり

稲機支部 湯浅 鍋

稲沢は国鉄時代貨物の集約基地として発展した町として知られていた。稲沢大操車場と隣り合わせて東洋一といわれた稲沢機関区があった所として、読者の皆様もご存知の通りです。

動力の近代化で無煙化計画が昭和四十年頃から進められSLに代ってDL・DCからEL・ECとなり稲沢機関区も小さくなり、SLもほとんど廃車になって行った。中でも稲沢機関区の思い出の機関車であったD51 823号が稲沢市へ移管となり、昭和四十五年稲沢駅前宮浦公園へ展示された。以後、稲沢市の要請で国鉄の現職とOB会が協力して面倒をみることとなり春・秋の二回清掃と点検を実施してきた。

年月が経つとともに稲沢市民から機関車の公開について要望もあり、春・秋の稲沢まつりに



合わせて公開説明会を実施することとなり、OB会の有志で説明を行い今日に至っている。

最近稲機支部の会員で、山川誠一さんが個人でミニSLを作製して郷里の保育園にボランティアで出向いて運転し、子供さん達に喜ばれていることを知り、稲沢のSL公開説明会に合わせミニSLの運転を依頼したところ、快く引き受けていただき、秋の稲沢まつりにボランティアとして来ていただけることとなり、稲沢市職員・OB会有志・JR貨物社員有志で協力して宮浦公園で、D51 823号の公開説明とミニSLの運転が実現することとなり、十月二十二日・二十三日に公開説明・十月二十三日にミニSLの運転で多くの子供達に大変喜ばれた。



このミニSLは、8620形の十分の一の大きさで、ボイラ始め各部品一つ一つを手作りで作製し、実際にボイラに水を張り込み石炭を焚いて本物のSLと同じく黒煙を吐きドラフトの音・汽笛の音も勇ましく公園内を二両のトロコに子供達十人を乗せて走行し、一日中子供の歓声で稲沢まつりを盛り上げた。

セントラルタワーズ建設余話

岐阜工務局支部 弓桁英二

国鉄民営化直前の話である。当時私は岐阜工務局の建築課長をしていた。

ある日、私の机の前に数人の男が押しかけ、突然「建築課長、明日構造物設計事務所の承認を取りに行くので、地下鉄六号線の積載荷重を将来計画を見込んで決定してください」と言うのである。

地下鉄六号線は当時、名古屋駅中心部直下をぐぐり抜ける工事を名古屋市より委託されて工事中であった。

突然そのような大それた事を聞かれても見当もつかない。第一、私は工事の責任者でもなんでもない。しかし、男達の剣幕に押されてなんとかしようと言う事になった。

何気なく横を見ると将来計画の駅ビルの絵があった。長さは現駅舎と同じくらいであるが、高さに至っては一定で衝立を立てたような建物であった。階数を数えてみると四十八階もあった。

四十八+二(地下)+二(基礎) 五十二トン(二平方メートルあたり)という数字が浮かんだ。五十トンを超えると叱られそうな気がしたので、四十九トンにしようということになった。

翌日、その結果を聞くと「四十九トンなどなどでもない、現在の荷重が約十トンであるので最大二十トンまでだ、それ以上は国鉄自己資金になる。そんな金はない」と一喝されて帰って来たそうである。

翌日の午後、局長室で御前会議が開かれた。ところが、不穏な空気を察したのか、責任者たるべき土木の課長も次長もいない。仕方なく、例の駅ビルの絵を出して説明した。

局長の林正雄氏は「沈黙思考」約五分間、開口一番「君たちはこんなバカでかいものを造って一体誰が入るのかね」と言われた。一同黙っていると、「君たちはツインビルを知っているかね」と質問した。私は不勉強でツインビルという言葉を知らなかったのだ、傍らの岩月係長に小声で聞くと、「二つの高層ビルの間を低層ビルで繋いだものだ」と教えてくれた。

局長からの指示は「一週間後に資料を集めてくるように」ということで会議は終わった。

一週間後、資料をかき集めて説明すると「これで良い、真ん中の地下鉄部分は二十階ぐらいにして、左右の高層部分は何十階でも造れば良い。荷重は二十トンにしよう」と言っただけで会議は終了した。

以来、駅ビル計画はツインタワーが主流となり、JR東海のシンボルともいう大ビルが完成

したのを見ると感慨に耐えない。

林正雄氏は、役人離れた一風変わった人物であったが、国鉄改革で去り、その後会う機会に恵まれていない。

ローカル線活性化の一案

西濃支部 澤邊邦雄

ドイツへ行く度にローカル線を利用するとき見掛けるのが、若者達が自転車とともに列車に乗り込む風景です。ドイツでも日本以上に車社会化しているとは言いながら、自転車の普及も行き渡っているのです。近所への買い物や健康保持のために老若男女を問わず自転車がよく利用されています。お天気の良い週末には郊外の道路を若者のグループや中年の女性グループ達がおしゃべりしながら、楽しそうにサイクリングする姿が見受けられます。そんなことで市街地に住む人達が近郊の森の中や景勝地へサイクリングに出掛けるのに便利なのが列車のなかの自転車積載用の車輛です。それは客車の半分が座席のない設備となっていて、客は大概、自転車と一緒にその車両に立ったまま乗って行くようですが、一部の人は隣の車半分の座席部分に乗って行きます。

我が国でも最近健康増進や肥満防止で自転車の利用が見直されてきているようですが、鉄道沿線の景勝地への行楽客を誘致するために自転

車と同乗出来る制度を設けるのも一案かと思われます。この事によって健康増進や着地での行動の自由な自転車利用をPRすることにより、顧客をつかむこととなり、サイクリング適地の観光開発にもなるかと思われます。

この制度は偏にサイクリング客のみに限らず、通勤通学客を対象に検討されるならば、通勤客の利便や都市の交通渋滞緩和等からもメリットのあることとも思います。

退職後二十四年まだまだ元気

焼津支部 高島繁二

歳月の流れは速く、退職して既に二十四年が経過した。やがて次の春がやってくる。この間一体何をやって来たのかと思うことがある。昭和五十七年三月やっとうやら無事に解放されたのかと思ったが、何々解放と同時に第二の職場が待っていた。其れは先輩のお世話で再就職、四月早々出社せよとのこと。月替わり直ちに会社、其処には一年先輩がおり一安心。仕事の内容を聞くと経理・労務・仕入事務全般だという。商売は喫茶店である。全くの未知の世界、頭の中は真っ白だ。そんな中で遂行できるのかと悩んだ。毎日忙殺の日が続く。就中帳票は五日目毎に試算表の本社送り、休憩時間のレジの代替等有り、レジの誤扱いによる不足金の弁納も屢々あった。結局は一年の先輩共々翌年八月

揃って退職。

第二の再就職：退職後一ヶ月後、安定所から家具資材会社で労務担当者の求職が有るがどうかとのこと。早速出向いたところ労務関係はOKだが木工関係は無知、社長が「本気を出せば何でも出来る」とのこと。その気になって再就職、一からの勉強であった。労・経事務は女性事務員と協働、代引等の処理から金庫番、果ては社長同道で資材の入札仕入れ等あらゆる経営を勉強、三年後には社員六十人の常務になった。此処までは必死の勉強であった。以来六十八才まで勤務した。

第三の人生：第二の再就職が終わったら待っていたのが自治会と老人会活動。御願い倒されて一通り地区、地域の役を終えたと思いきや、老人会はなかなか其れを認めない：現在は地区を離れ、地域と市老連本部の理事、運動部、レクレーション部長として活動の企画・調整に当たり毎日が眼の回る多忙さである。

六十代で軽飛行機のライセンスに挑戦。約十年空を遊び、十数回の海外旅行等敢行したが新年を迎え、誕生日が来ると八十歳。新年にもう最後かな：海外旅行を計画中：年寄り等と言っては居られない。皆さんに育まれ預かった命だもの、一生懸命に生きて後一回りくらい若返りご奉仕出さればと気を張っているところ。

現在早朝「ラジオ体操」四〇〇回近し、週四回のグラウンドゴルフ、毎朝の散歩、こんなことをこなしながら老人会活動に精出して居るこの頃、健康に感謝・感謝。

教習所中等部の思い出

飯田支部 清水清勝

私は昭和二十三年四月、名古屋鉄道教習所中等部土木科に入所しました。中等部は業務科、運転科、土木科、建築科、電気科、機械科の六クラスでした。土木科の同期生は保線区出身者が二十三名、駅出身者が四名、機関区出身者三名で計三十名でした。

名古屋にあった教習所が空襲で焼失したので、教室、宿舍は豊川海軍工廠の建物を改造した施設を使用していました。最初の一年間は期末毎に試験があり、全部で二十二科目でした。試験は木曜日から始まり、中間に日曜を入れて翌週の水曜日まで一日四科目で、土曜日は二科目でした。一番辛かったのが試験勉強でした。この辛かった試験勉強で数多くの知識が身につきました。鉄道業務に対応することができました。

二十三年七月にマッカーサー書簡が出されて、国鉄職員は一般の公務員から除外して、公共企業体を設置すべきことがその内容によりこまれており、公共企業体日本国有鉄道法が国会で論議され、紆余曲折をして国会を通過し、施行されることになりました。その関係で中等部の教育内容も大幅に変更になり、二年生は一年短縮して二十四年三月に卒業、私達は国鉄最後の中等部生徒となり、十八ヶ月短縮して二十四年九月に卒業することになりました。教育内容も大幅に変更され、一般科目は数学、国語を除き中止され、鉄道の専門科目のみの教育になりました。

た。

二十四年六月一日に発足した日鉄法に基づく公共企業体の発足により、三十人の同僚のうち八人が人員整理の対象になりました。辞令は出身の現場長から送付されて来ました。各現場により相違はあったが、共通して採用年月日の遅い人が対象になりました。私は三ヶ月の差で残ることが出来ました。十四ヶ月同室で学んだ八人が突然教習所を去ることになり、運命のいたずら、人生はなんと無情なものかと愕然としました。

九月末の卒業を前にして残った同僚達はノートに寄せ書きをして残し、思い出にしようとの案が出て全員が賛成して実行しました。当時の同僚の寄せ書きを読み、この文章を書きました。同僚の顔が走馬灯のように浮かんできて、ありし日の教習所で学んだことが鮮明に蘇ってきました。今しみじみ振り返ると国費で教育を受けて、三十八年間国鉄に勤務できたことを深く感謝しています。

正月の小さな支部の小さなイベント

長泉支部 加藤恒夫

現在会員百二十名の小さな支部です。

ちよっと前の平成十年度の会費徴収の折「何のメリットもない」「俺達はこの会費を一生納めるのか」等の「愚痴」とも「文句」とも受け取れる話を聞かされたことが話題になりました。

当時会員の数は、百五十五名で会員数の変動

は二、三年なかったが、しかし組織の中味は正会員が減り、遺族会員が増えていました。そんな状況の中での話は結論の出ない「暗い先のない」話ばかりでした。

夏も去り、秋も過ぎ年賀状の時期が来ました。当時支部では会員一人一人に年賀状で新年を祝っていました。会議の中、一人七十円も八十円もする官製ハガキを十円で済むコピー印刷にして、それを基にして、例えば品物はささやかでも、会員に還元できる抽選会にして、皆で「ワイワイガヤガヤ」と遊べる場を作ろうということになりました。

やってみると思わぬ人、ご苦労さんといってビールを差し入れてくれる人、女性会員の小団体の参加と嬉しい結果が得られました。勿論地区役員のご苦労も察しられます。

抽選は地区のお年寄りを喜ばせている老人会長の指導で遊びを取り入れ、笑い、「ワイワイガヤガヤ」の中での抽選会でした。しかし、抽選会での大きな収獲は支部で一番大きなイベントの総会に女性会員の参加が目立つようになったことです。ささやかな遊びが「糧」となったと「うがった」考えをもっています。

後に思うことは組織の活性は「不動」ではなく「動」が必要であると感じたイベントでした。

今年、第八回目の抽選会を一月十四日に行いました。女性四名を含む二十五名の出席で、決して多いとはいえませんが、楽しいイベントでした。

「来年も元気で参加したい」などの声を聞きながらの解散は満足の一日でした。

短歌

今日もまた一入残暑厳しくて

雨を乞いつつ散水終る

さわやかな秋の気配も深まりて

比良の山々比叡も錦

滋賀県支部

谷川虎太郎

年老いて歩行運動杖をつき

登呂遺跡田を妻と廻りぬ

故郷は生まれ育ちし古巣にて

巣立ちし後も名残はてなし

静岡支部

勝又範夫

友よりの長電話なり眼・耳・足・弱きを

繰りて言いし後切る

長雨の明けし光りに誘われて

ふらふらと外草筆るなり

浜松支部

原 哲

池の底をはってきこえるコーランの

重きひびきやサバクの夜明け

南冥に散りにし戦友もおぼろにて

おもかげ追いしわれも老いぬる

身延支部

深沢 満

わがまちの長寿番付首座を占む

元駅長は口髭立てり

上伊那支部

竹内滋一

弛緩した国家の箍を締め直す

政治がほしいしきりに思う

苦勞して築き上げた日本が

闇に向かって崩るる音す

津支部

岡 俊雄

俳句

胸に棲む遠き戦の汽笛哭く

冷房に背を剥されて銀行出る

流れ星あとに残るは吾か妻か

津支部

濱口義徳

亡き夫に一句と思う菊日和

供養にと露を払いて手折る菊

咲き誇る行き来楽しい木屋下

春日井支部

秋田洋子

芭蕉庵石路一叢の華やかさ

永平寺千年の杉天高し

北海の街に紅さすななかまど

西濃支部

高畑正良

すすしさの風にくもれり山の嶺

飛ぶ網に白鷺一羽飛び立ちぬ

やかましき虫すみかか美濃ぐらし

三河支部

西田正人

サーキット唸の御秋うらら

晩節は幼にもどる薄紅葉

むらがりて揺れからみ合い秋桜

津支部

坂口 守

幸は心がきめる新松子

絵手紙に小さな秋をもらいけり

呟いて見ても一人の秋灯

大府支部

和智 洋

新緑や子宝館の赤き旗
夕焼へ祈る嬬や過疎の島
万緑を映す水面や神の池

富士支部

田中義作

川柳

金婚につつかい棒を立て直す

置き薬処方符合わぬ夏の風邪

美濃太田支部

三島次朗

老いてなお余生にあらず鋏を持つ

垣根ごし朝の挨拶褒る花

四日市支部

小川 勇

肩書きをもらったとたん偉くなり

胃は退化頭の中は風化する

津支部

宮田孝也

清流も大河となつて濁り水

特急は修理台でも席が上

岐阜工事局支部

弓桁英二

老若に温度差の出る未来像

事故記事に遠い記憶が歩き出す

富士宮支部

渡辺定善

平凡に夫婦寄り添い半世紀

その秘密合い鍵だけが知っている

沼津支部

山田寿男

意に添わぬことも人間愚を悟る

無理を言う子に腑甲斐無い親心

大府支部

藤井芳雄



太多線 かに 可児駅

●開業／大正7年12月28日
●所在地／岐阜県可児市下恵土

中央本線・多治見と高山本線・美濃太田を結ぶ太多線。この路線の中でひととき存在感を放つ可児駅は、大正7年、前身の東濃鉄道時代に開業。駅舎前には、かつて出発信号機として活躍した腕木式信号機が保存され、歴史を感じさせる。

岐阜県中南部に位置する可児市は、人口10万を超える可茂地域の拠点都市。名古屋、岐阜市から30km圏内にあり、両市のベッドタウンとして発展。市の北側には日本ラインとして名高い木曽川、中央部には可児川が流れるなど、豊かな自然に恵まれている。

古い歴史を持つ可児。可児川のほとりにある国指定史跡の長塚古墳は、築造4世紀後半と推定される全長72mの前方後円墳。出土した鏡や玉類からは、当時の豪族の強大な権力がうかがえる。近隣の西寺山古墳、野中古墳とあわせて「前波の三ツ塚」と呼ばれる。時が流れ、戦国時代には明智光秀出生の地といわれる明智城をはじめ、多くの城が築かれた。長山城とも呼ばれる光秀ゆかりの山城は、現在「明智長山城址」として市の史跡に指定されている。

焼物の里としても名高い可児は、志野焼、織部焼を代表とする「桃山茶陶」発祥の地といわれている。陶芸家や人間国宝の荒川豊蔵を記念した豊蔵資料館には、荒川氏の作品をはじめ、桃山時代の陶片なども展示されている。

もうひとつ、可児で忘れてはならないのが世界一のバラ園「花フェスタ記念公園」。昨年3月、「花フェスタ2005ぎふ」に合わせ、約7000品種のバラが咲き誇る「世界一のバラ園」が誕生。一年を通し、季節の花々を楽しむことができる。



「会報への寄稿、 文芸欄への投稿」要領

【支部及び会員からの寄稿】

1 「表紙写真」

会報誌の表紙写真に使用する写真を会員から募集しております。それぞれの会報誌発行時季にあつたもので、画面に列車等が入っているものとは限定しませんが、JR東海エリアの地域内が好ましいと希望します。カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータ（解像度A4サイズで三〇〇DPI以上）送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。

なお、複数ご応募いただいた場合には会報編集委員会にて採用選考させていただきます。

また、お送りいただきましたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体については、後日お返しいたします。

2 「支部便り」

支部総会、増収協力旅行、清掃美化運動、事故防止運動、会員交流会等支部からの「たより」を随時受付いたします。テーマ、内容は自由ですが、六百字目途でまとめ、執筆者氏名を明記して下さい。なお、活動の状況がわかる写真がある場合は一枚添えて下さい。

3 「読者のひろば」

会員から「情報、体験談等」の寄稿を随時受付けています。テーマ、内容



等は自由ですが、千二百字以内、挿絵、写真等の掲載希望はいずれ一枚以内とし、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

4 「絵手紙」

会員から「絵手紙」の募集をしています。応募は、随時受付しています。色彩が鮮明なものを歓迎いたします。応募年月日、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

5 「短歌、俳句及び川柳」

会員から「短歌、俳句及び川柳」の募集をしています。

応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は三句、川柳は二句以内に限り募集します。

記入の際に、冠部に「短歌」「俳句」「川柳」と朱書して下さい。

応募葉書には、応募年月日、所属する支部、氏名（フリガナを付し、本名も記入する）及び住所、電話番号を明記して下さい。

6 寄稿及び投稿先

〒四五〇〇〇〇二
名古屋市中村区名駅三十三十二
キヨスク名駅ビル内

東海鉄道OB会・会報編集係宛

〔注〕寄稿または投稿された作品等は、順次会報に掲載いたしますが、応募状況や紙面の都合等により、掲載が遅れる場合があります。

なお、寄稿または投稿された原稿は返却いたしません。

編集後記

会報第五号（四月号）の編集と今後について

東海鉄道OB会が発定して満一年を経過しました。東海鉄道OB会報も昨年第一号を発行して以来、会員皆様からの多くの投稿を頂き、「会員で作る会報」として定着し、平成十八年度一回目の第五号を発行することが出来ました。その間にJR東海及び関連グループ各社からご後援を賜り、多くのJR東海関連ニュースなどのご提供も頂き、会員一同感謝いたしております。

今後につきましては、より多くの会員皆様に会報誌に今まで以上に参加して頂き「会員で作る会報」として、なお一層充実したいと考えております。

一 会報表紙の写真を積極的に寄せ下さい。「会報への寄稿等の要領」を参考にしてください。

二 支部のOB会運動がOB会活動の原点です。さらなる活性化を図るため、どの支部でも結構ですから、参考のため支部の運動方針と活動状況を是非投稿して下さい。

三 支部総会、増収協力活動、清掃美化運動などが、上半期に多く行われたと思います。その概要等を投稿して頂き、お互いの参考にしてはどうかと存じます。

四 昨年の会報第二号で「絵手紙」を掲載し、大変好評でした。是非そのようなものも寄せ下さい。

五 最近JRを退職されて入会された方々のフレッシュなお便りをお待ちしております。紙面に余裕がある場合、娯楽的なものもと考えています。

七 会報誌編集にあたってのご意見・ご要望等もぜひお寄せ下さい。

（杉浦）

発行 四五〇〇〇〇二
名古屋市中村区名駅 三丁目十三十二
キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部
発行人 杉浦 定行
電話 〇五二一五六二一六〇（FAX兼用）